



居住権

個人的にアドバイスを受けることが重要です。オプファーhilfエ [Opferhilfe](#)（[Opferhilfe](#)）での相談が、居住権の喪失につながることは決してありません。相談は秘密厳守です。オプファーhilfエ [Opferhilfe](#)（[Opferhilfe](#)）は相談内容を誰にも話しません。

DVによる別居の場合の居住権

結婚してスイスに滞在している方がDVを受けた場合、状況に応じて、別居後もスイスに留まることができます。状況はそれぞれ異なります。そのため、アドバイスを受けることが重要です。

オプファーhilfエ [Opferhilfe](#)（[Opferhilfe](#)）相談窓口が支援できます：専門家が現在の法的状況を説明し、相談者の次のステップを支援します。相談は無料で、秘密厳守です。通訳を付けることもできます。

暴力を記録します

暴力の証拠があることが重要です。例：けがの写真 [WhatsApp](#)、[WhatsApp](#)やFacebookなどでの脅迫や侮辱のスクリーンショット。なお、証拠品は安全な場所に保管してください。例：友人宅や職場。

また、その暴力を知っている人が周囲にいと良いです。例：友人、職場、近所、学校の人。

詳細（リンク、連絡先、冊子、リーフレット）

www.hallo-bern.ch/ja/haeusliche-gewalt/aufenthaltsrecht